

「第12回全国国分寺サミット2022 in 仙台・陸奥国分寺」について

1. 全国国分寺サミットについて

(1) 開催目的

全国の国分寺跡を持つ自治体が集まり、遺跡の保存や遺跡を生かしたまちづくりについて情報交換し、地域の魅力の1つとして情報発信する。

(2) 開催の経過

第1回は平成12年度に福岡県豊津町で開催された。以後断続的に開催され、今回で12回目を迎える。仙台市での開催は初めてである。

2. 今回の開催趣旨

大正11(1922)年に史跡指定を受けた陸奥国分寺跡は、奈良時代の天平13(741)年に聖武天皇の命により全国に建立された国分寺の一つである。衰退した時期もあったが、仙台藩初代藩主伊達政宗が慶長12(1607)年に薬師堂を建立し、再興が図られた。令和4年は、史跡指定から100年、その歴史を伝えるガイド施設は開館5年目を迎える。こうした節目の年にあたり、国分寺建立に込められた天災や疫病の鎮静への願いや伊達政宗が復興させ現代まで続く様々な想いを、全国国分寺サミットを通して“withコロナ”時代の現代に向けて発信する。

3. テーマ

「ねがい ～天平から令和へとつながる想い」

4. 実施概要

(1) 日時 令和4年10月8日(土)・9日(日)

(2) 場所 聖和学園高等学校サールナートホール、陸奥国分寺・尼寺跡ガイド施設

(3) 主な内容

【1日目】

・「献灯の舞」演舞 (聖和学園高等学校 舞踊&ダンス部)

・記念講演「陸奥国分寺・国分尼寺と疫病・皇位継承」

講師: 東北大学大学院文学研究科 教授 堀 裕 氏

・パネルディスカッション「わがまちと国分寺跡の魅力」

パネリスト: 仙台市長, 国分寺市長, 伊賀市長, 総社市長, みやこ町長

【2日目】

・担当者情報交換会 ・ボランティア会と聖和学園生徒による案内 ・市内史跡見学

(4) 参加自治体

国分寺市(東京都), 伊賀市(三重県), 豊岡市(兵庫県), 総社市(岡山県),
みやこ町(福岡県), 仙台市(宮城県)

(5) 参加者数: 約200名

Web閲覧数: 249回(令和4年10月31日現在)

※年内は視聴できます。





パネルディスカッション打合せ (10/8)



史跡内見学 (10/8)



仙台城跡見学 (10/9)



郡市長あいさつ (10/8)



サミット共同宣言 (10/8)